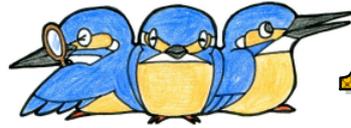


カワセミ通信



No.55

10月

発行：彩湖自然学習センター

発行日 H26.10.3

～また来年お会いしましょう！～

一雨ごとに涼しくなり、虫の声が少なくなってきました。今では全く耳にしなくなった虫の声といえば、セミたちです。夏の盛りを謳歌したセミたちは次の世代の子孫を土の中に残し、静かに去って行きました。

3年生のセンター授業でも、前半の学校はセミがたくさん見られました。学習の最後に「昆虫クイズ」を行うのですが、その問題の一つに次のようなものがあります。

Q、「一番長生きする昆虫はどれ？」

A：スズメバチ B：カブトムシ C：アブラゼミ

私も幼い頃に「セミは1週間しか生きられないから、捕まえたら逃がしてあげてね。」と親から教わったものです。確かに成虫になってからは10日間ほどしか生きられませんが、土の中で7年間過ごしています。実は3種類の中では一番長生きするのです。

来年、また会えるセミたちは、7年前の子供たちと学習したセミたちの子孫になるわけです(N)。



季節の生き物

秋の七草

『オバナ・クズ、ハギ・オミナエシ、フジバカマ、キキョウ・ナデシコ、秋の七草』春の七草のように、五七調に並べかえてみました。秋の七草は、無病息災を祈願して食べる春の七草とは違い、花や姿の美しさを眺めて楽しむものです。

彩湖自然学習センター周辺を観察すると、オバナ＝ススキ、クズの2種は普通に見られますが、残りの5種は見られません。郊外の山野に出かけても、野生のものを見かけることは少なくなっています。これらの種は、家畜の放牧地や家畜のエサとして草を刈る草地など、手入れが適度に入る「半自然草地」に自生していました。

このような草地は宅地化されたり、管理する人がいなくなり荒地化したりして自生地が減少しています。しかし、九州・阿蘇山の草原再生の取り組みのように、ボランティアが野焼き等の草原管理に協力している例もあります。これが全国に広まると良いですね(T)。



講座案内 (10月～11月)

10月26日(日) **親子ふれあい教室** 雨天実施

「ネイチャークラフト」

色づいた木の実や枝など自然の材料で可愛い飾り物を作ってみませんか？アクセサリーも作れます。オリジナルの作品を記念に持ち帰れば、秋の素敵な思い出になりますよ。大人の方のみのご参加も大歓迎です。

対象：小中学生・親子(小学生以下は保護者同伴)・一般

定員：20名

時間：10:00～12:00

持ち物：軍手、作品を持ち帰る袋

参加費：200円(保険代+材料費)



11月2日(日) **親子ふれあい教室** 雨天実施

「オギのミミズクづくり」

センター周辺に生えるススキに似た「オギ」の穂を集めて、かわいいミミズクづくりに挑戦しませんか？少し難しいので親子で協力して作りましょう。

対象：小学生以上の親子

定員に空きがあれば大人の方もご参加いただけます。

定員：30名

時間：10:00～12:00

持ち物：軍手、園芸用ハサミ、作品を持ち帰る袋(ビニール袋等)

参加費：200円(保険代+材料費)



11月15日(土) **野鳥観察会** 雨天実施

「彩湖周辺の野鳥・初冬」

冬の野鳥観察シリーズ 第1弾、初冬です。極寒の地域から渡ってきた冬鳥を、講師の先生と一緒に観察します。どんな鳥が渡って来ているのか、ぜひ見に来てください。

対象：一般(小学校3年生以下は保護者同伴)

定員：20名

時間：10:00～12:00

持ち物：双眼鏡(貸出可)

参加費：100円(保険代) 冬の観察会は、マイクロバスで彩湖沿いを移動します。

11月29日(土) **こども自然観察教室** 雨天実施

「わくわく紙すき体験」

牛乳パックをリサイクルしたはがきを作ります。彩湖周辺でとれるマコモの繊維をすきこんでオリジナルのはがきを作りましょう。

対象：小・中学生(小学校3年生以下は保護者同伴)

定員：20名

時間：10:00～12:00

持ち物：作品を持ち帰る袋

参加費：200円(保険代+材料費)

申込方法：彩湖自然学習センターへ電話にてお申し込みください。各講座は定員になり次第、受付を終了させていただきます。

なお、申込みは講座の1か月前から受け付けています。 :048-422-9991

詳しくは彩湖自然学習センターホームページ

(<http://www.city.toda.saitama.jp/433/432448.html>)を御覧ください。